

	タイトル	サブタイトル	内容
49回 22・10・27 (水) 勝野 徹	縁の下の力持ち、揚重機にはこんな種類が 講師 三成研機(株)様	・タワークレーンをはじめ、規模や用途による揚重機の選定	・揚重機の種類 ・タワークレーンの組立解体 ・揚重機の計画と費用

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	クレーン(100t以上)、タワークレーンの組立解体にかかる日数を教えてください。	ほぼ7日間です。
2	マストクライミングTCと、フロアクライミングTCでは機械のどこに違いがありますか。	マストクライミングは100t・m以下の場合が多くフロアクライミングは100 t・m以上の場合に採用されています。
3	機械名称(例:OTA-150HN、JCC-200W)で記号や数字の意味を教えてください。	OTA:OGAWA-TOWER-Aフレーム 150:t m H:高揚程仕様・高速型 N:NEW新型 JCC:ジブ式-クライミングクレーン 200:t m W:起伏式
4	移動式重機の1日当りの単価の決定要素をご説明ください。又時間当り使用時間で最低補償時間はありますか?月極め時の1日当り単価はどの様に考えれば良いですか。	半日保証が通常と思われます。月極め金額は1日単価×30日×80%程度です。
5	クローラークレーンの組立・解体・運搬費はどの様に見積に反映するのがよいでしょうか。	その都度見積を取る必要があります。